

# ともしび NO. 76

2017(平成29)年 7月19日 発行  
倉吉北高等学校 育友会人権教育専門部  
2017年度 第1号

「ともしび」は、育友会人権教育専門部の機関紙です。  
1996年に第1号が発行され、毎年3～4号が発行され、  
今号で第72号となりました。「ともしび」という名前に  
込めた思いを感じてください。



ゴーゴと、全てを焼き<sup>つ</sup>尽くすような激しい<sup>ほのお</sup>炎ではなく、  
ろうそくのように、トトロ、ジワ～と人の心の中に<sup>しみこむ</sup>沁みこむような<sup>あたたか</sup>暖かな<sup>ひ</sup>灯。  
これからも絶<sup>た</sup>やすことなく、ともし<sup>つ</sup>続けていきたいです。

☆差別の解消と自己解放<sup>じこかいほう</sup>に向ける灯

☆力強く生きる力の灯

☆他の人と、自分自身を大切に！と願う灯

☆仲間作りの輪<sup>わ</sup>の中でともった灯

ご挨拶

倉吉北高等学校 校長 横山 尚登<sup>ひさと</sup>

今年の北高祭のテーマ FREEDOM は人権教育のテーマでもあります。日本語で「自由」と書くと、意味がやや曖昧で自分勝手な考え方や行動もその中に入ってしまいそうなのですが、FREEDOM という言葉は「自主独立」、「支配からの解放」などと訳され、自由に対する明確で強い意志が感じられます。つまり FREEDOM は思想信条の自由や基本的人権の尊重<sup>そんちよう</sup>を象徴<sup>しょうちよう</sup>する言葉なのです。自由は自然の状態<sup>ぜんぜん</sup>で存在するのではなく人類が英知<sup>えいち</sup>を結集して獲得したのであり、一人ひとり人間も FREEDOM を得るためには自ら学び、正しい判断のもとに行動する力を備えていかなければなりません。

北高祭は生徒の自主独立の気概と意志決定の力によって運営されるべきもので、まさに FREEDOM を体現する絶好の機会でした。積極果敢に挑戦した生徒達に拍手を送りたいと思います。

ともしび発行に寄せて

高校生に伝えたいこと  
育友会人権教育専門部長

1年保護者  
竹歳 眞澄

『喜怒哀楽』 今あなたの心をどんな感情が支配しているのでしょ  
か。人間関係の良し悪しは、あなたの感情が作るのです。

朝、鏡に向かって最高の笑顔で「おはよう」が言えたら、最高の1日  
の始まりです。まずは、あなたから笑ってみましょう。

あなたに今一番伝えたいことです。 “鏡の自分は先には笑わない!!”



## 生徒に伝えたいこと 2年保護者 育友会長 山田 珠央

昨年、鳥取中部地震を経験して改めて思う事がありました。『一日一日笑顔で終わろう』と。いつ、どんなことが起こっても悔いのないようにと。自分自身の評価なんて、周りがどのようにしているか、わかりませんが、人生が終わるときに夫（連れ合い）が「この人と結婚してよかった。」とか、子どもたちが「僕たちのお母さんで良かった。」と、思ってくれたら『私の人生100点満点だ。』と思っています。



皆さんも自分自身の最終目標を思い描<sup>えが</sup>けば、楽しく笑顔で過ごせるのではないのでしょうか。そうすれば、何があろうと大丈夫。大丈夫じゃなかったら助けを求めればいい。

子どもだから…。大人だから…。そんなことは考えなくて大丈夫です。また、自分自身を好きになりましょう。そうしたら周りにも優しくなれる。そんな気がします。

今年1年、私は、子どもたち、保護者の皆さん、職員、先生がたの止まり木になれるように、頑張ります。よろしくお願い致します。

## 私が今、思うこと 2年保護者 牧田 かおり



私は今、盲ろう者向け通訳・介助員として活動しています。目と耳に障がいのある方の支援なのですが、伝達方法は音声（声かけ）、点字、指点字、手話、触手話など、盲ろう者に合わせて変えていきます。私ができるのは声かけと指点字だけです。通訳、介助員としては未熟ですが、鳥取県には多くの盲ろうの方が支援されないまま、今を生きておられます。目が見えない、耳が聞こえないことの不自由さを考えると息がつまる想いです。私ひとりでは何もできませんが、少しでも多くの方の通訳・介助ができるよう、私もこの春から手話も学び始めました。手話も点字も一見難しそうですが、楽しんで学べるものです。もし、少しでも興味があれば挑戦してみてください。そうすることで、ひとりでも多くの盲ろうの方が、いきいきと生活できる社会になると私は思います。

## 高校生に伝えたいこと 1年保護者 生田 奈緒美

『決意即行動』の実践を。人の心は時によって移り変わり、人間は環境に左右されやすい。今は何をするか決意しているようでも、その環境から遠ざかれば、その決意を忘れてしまうこともある。

これは、子どもたちだけではなく、私たち大人にも言えることである。何かを決意した時は、些細なことでも、すぐに行動に移すことを心がける。そうすることで、変わることができると考えている。また継続力にもなるし、成長することもできる。勉強でもスポーツでも行事に取り組む時でも、すぐに行動する方が成功しやすいといえる。



※ウラ面に続く

## 高校生に伝えたいこと 3年・2年保護者 加藤 満夕

今をときめくスーパースター“テイラー・スイフト”。彼女が実は不遇の学生時代を送っていた事をご存知でしょうか？大好きな歌の活動を頑張れば頑張るほど、仲の良かった友人たちは離れていき、孤独な日々が続きました。それでも自分を信じ続け、大成功をおさめた彼女は、当時を振り返り、こう語っています。『遊び相手がいなかったから音楽にのめり込めたし、話し相手がなかったから曲を書いた。あの頃の日々



は私に曲作りのためのエネルギーをくれたの。』大切なことは、自分の周りで起こっている出来事ではなく、それをどうとらえるのかということ、彼女は実証しています。

また、私の好きな言葉に『変えられるのは自分と未来』という言葉があります。今の状況を回りや他人のせいにするのではなく、「自分がどうありたいか」を常に心に持ちながら、子どもたちには歩んでほしいと願っています。

## 高校生に伝えたいこと 3年保護者 河本 由美子



今、この時にしかできないこと、この時だからこそできることがあります。高校生時代って、今、自分が振り返ってみても、よく覚えていることが多いなあ～って思います。

何をするにも悔いなくやりきることでできる高校3年間にしてほしいと思います。たくさんのお会いもあり、たくさんのお友人もでき、楽しいこと、また苦しいこともあると思いますが、自分で考えたり、周りの意見を聞いたり、時には親の意見を聞いたりして、過ごして行ってください。

## 高校生に伝えたいこと 2年保護者 小谷 ジョセフィン

今年も新入学や進級と新しい一歩を踏み出し3ヵ月が経過しました。新しい仲間との出会い、そして新しい環境で自分自身の成長を楽しむことができる。そんな学校生活を送ってくれればと思います。そんな中、小学校の授業参観に参加した時、教室に3つの言葉が掲げられていました。

1. 朝のあいさつを自分からする子に
2. 呼ばれたら「はい」とはっきり返事のできる子に
3. 席を立ったら必ずイスを入れ、履物を脱いだら必ずそろえる子に

これは、教育哲学者の森信三先生の『しつけ三原則』です。こんな簡単なこと？と思われるかもしれませんが、日常生活の様々な場面に派生していくものです。みなさんも、自分自身の行動を振り返っていただき、できていなければ、意識して過ごしてみましょう。「意識」が変われば“行動”が変わる。」必ず誰かが見ていてくれますよ。



## たくさんの出会いから生まれる繋がり

人権教育部長 牧田 雅啓

「世間は狭い!!」とよく表現されますが、実際のところ、どうお思いでしょうか。

倉吉市の人口は約48,000人。鳥取県中部（倉吉市・東伯郡）の人口が約104,000人。鳥取県全体の人口は58万人。日本の人口は約1億2,000万人である。

1人の人間に親は2人。その親が4人、その親は8人と、どんどん倍が増えていく。親を10代<sup>さかのぼ</sup>ると先祖は1,024人存在し、15代遡ると32,768人。20代遡ると、鳥取県の人口をはるかに超える104万8,576人となる。27代遡ると、先祖の数は1億3,400万人を超え、30代遡ると10億7,300万人にもなる。大昔、日本国内にそんな人数など存在していない。つまり、親や先祖はダブリまくっていて、どこかで繋がっているということである。



人それぞれ、生まれも育ちも違って、考え方や性格も違う。その違いから、人を差別したり、批判したりすることもある。限られた出会いの中で、批判するより、お互いに高め合い、励まし合い、前進する方がいいのではないか。人間関係において、些細なことでトラブルになることもあるが、小さな関わりから大きな喜びに変わることもある。そうであれば、多くの人と出会い、多くの考えを知り、多くの喜びに出会うことで、たくさんの喜びを、多くの人と共感できるとも考えている。

### 育友会 人権教育専門部 年間事業計画

※詳細は  
別途ご連絡します。

7月	第1号 ともしび発行
10月	第2号 ともしび発行
11月	人権教育LHR(ロングホームルーム)公開授業・懇談会
12月	人権教育研修講演会(保護者等対象:専門部主催)
12月	第3号 ともしび発行
2月	第4号 ともしび発行

### 人権教育関係行事・研修会のご案内

- ・第42回 人権尊重社会を実現させる鳥取県研究集会  
8月3日(木) 倉吉未来中心ほか
- ・部落解放研究 第44回 倉吉市集会 11月12日(日) 倉吉未来中心ほか
- ・第69回 全国人権・同和教育研究大会 12月2日(土)・3日(日) 松江市・出雲市
- ・第43回 倉吉市部落解放文化祭・実践発表 1月26日(金)~28日(日) 未来中心

### 人権教育全校講演会

9月20日(水) 本校 第一体育館  
講師: 繁原 美保さん(本校相談員)  
テーマ: 性といのち~大切な性的人権~

人権教育部は、多くの人々の思い・思いやりを大切にしながら、  
たくさんの人に「小さな気づき」や、「小さな発見」に結びつき  
きっかけ作りとなるお手伝いができたらと思っています。  
それが、「大きな成長(収穫)」や、「大きな成果」につながれば…と。

